

9 次の作図をしなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。

- (ア) 大きさが 105° の角を作図しなさい。
- (イ) $\triangle ABC$ で、辺 AB を底辺とする高さを示す線分 CH を作図しなさい。
- (ウ) 直線 l 上に、 $AP+PB$ がもっとも短くなるような点 P を作図しなさい。
- (エ) 解答欄の図で、点 A を通る円の接線 l を作図しなさい。
- (オ) 解答欄の図で、 $\triangle PQR$ は、 $\triangle ABC$ を回転移動させたものである。回転の中心 O を作図によって求めなさい。

10 次の問いに答えなさい。

- (ア) ある中学校の1年男子20人のハンドボール投げの記録は、次のようになりました。
このとき、(i)(ii)の問いに答えなさい。

ハンドボール投げの記録 (m)

21	25	24	14	18	17	20	19	30	22
23	27	26	23	25	20	22	23	21	28

- (i) この記録の範囲を求めなさい。
- (ii) この記録の中央値、最頻値を求めなさい。
- (イ) 右の表は、ある中学校の1年1組の男子と1年男子のハンドボール投げの記録を度数分布表に整理したものである。1組男子と1年男子の生徒について読みとれることがらかを、次のA~Dの中からすべて選んだときの組み合わせとしてもっとも適するものをあとの1~6の中から1つ選び、その番号を答えなさい。

記録(m)	1組男子 度数(人)	1年男子 度数(人)
以上 未満		
12 ~ 16	2	14
16 ~ 20	5	37
20 ~ 24	7	26
24 ~ 28	4	14
28 ~ 32	2	9
合計	20	100

- A. 1組男子と1年男子の最頻値は一致している。
- B. 記録が20m未満の生徒の割合は、1組男子よりも1年男子のほうが多い。
- C. 記録が28m以上の生徒の割合は、1組男子よりも1年男子のほうが多い。
- D. 中央値は1組男子のほうが大きい。

- 1. A, B 2. A, C 3. B, C
- 4. B, D 5. C, D 6. B, C, D